



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月24日

上場会社名 トランコム株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 9058 URL <https://www.trancom.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 恒川 穰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 中澤 圭亮 TEL (052) 939-2011
 経営企画・管理・営業開発グループ 担当
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	80,217	9.4	3,672	23.1	3,630	21.9	2,362	18.0
2019年3月期第2四半期	73,345	5.7	2,983	18.4	2,978	19.4	2,001	33.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,480百万円 (24.9%) 2019年3月期第2四半期 1,986百万円 (28.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	241.45	240.83
2019年3月期第2四半期	205.89	205.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	54,843	36,194	65.6	3,675.80
2019年3月期	52,957	34,180	64.2	3,474.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 35,965百万円 2019年3月期 33,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	44.00	—	48.00	92.00
2020年3月期	—	52.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	162,600	7.6	7,700	14.4	7,610	14.4	5,000	15.5	511.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	10,324,150株	2019年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	539,825株	2019年3月期	540,725株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	9,784,191株	2019年3月期2Q	9,721,417株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、2019年9月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ38,800株及び24,710株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

物流業界では、トラックドライバーなどの高齢化や人手不足による労働力不足が常態化しております。加えて、人件費の上昇、燃料価格の高騰などにより原価が上昇するなど、引き続き厳しい事業環境となっております。

一方で、EC市場の拡大に伴い、迅速な多頻度小口配送が主流となっており、リードタイム短縮などのさまざまな課題を解決する手段として、AIやIoTの導入が本格化するなど、物流機能が大きく変化してきております。

このような状況の中、中長期事業大方針「幹線輸送プラットフォームの確立」に向けて、さまざまな輸送モード、輸送量への対応、新たな分野への挑戦により、輸送バリエーションの拡充を図ってまいりました。

また、ASEAN地区への展開を視野にシンガポールでビルクリーニング事業を行う会社の株式取得を進めました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高80,217百万円（前年同期比 9.4%増）、営業利益3,672百万円（同 23.1%増）、経常利益3,630百万円（同 21.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,362百万円（同 18.0%増）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ロジスティクスマネジメント事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	24,893	26,989	2,095	8.4
セグメント利益（営業利益）	1,334	1,673	339	25.5

新規拠点稼働に伴う初期費用の計上はありましたが、前期稼働拠点の業務の安定化に加え、既存拠点の物量増、料金適正化などによる収益性の改善により、増収増益となりました。

② 物流情報サービス事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	40,493	45,385	4,892	12.1
セグメント利益（営業利益）	1,530	1,606	75	5.0

元号の変更、大型連休、消費税増税前の駆け込みなどにより需給バランスが大きく変動する中、情報センターの新規出店によるカバーエリアの拡充、既存センターでの中ロット貨物の取り扱い強化を推進しました。

業績は、成約件数の増加、運賃単価の上昇に加えて、自動車部品の幹線輸送業務の拡大により増収増益となりました。

③ インダストリアルサポート事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	3,767	3,735	△32	△0.9
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△3	178	182	—

全取引契約の見直しと料金の適正化、募集費を中心としたコスト管理の徹底など、粗利率改善に向けた取り組みを進めました。その結果、不採算取引の解消などにより減収いたしましたでしたが、大幅な増益となりました。

④ その他

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	4,781	4,859	77	1.6
セグメント利益（営業利益）	179	262	83	46.5

海外拠点における為替の変動はありましたが、国内でのシステム部門、車両整備部門の売上高の増加に伴い、増収増益となりました。

（注）上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較分析は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、現金及び預金が266百万円、受取手形及び売掛金が227百万円増加したことなどにより、549百万円増加し38,218百万円となりました。

固定資産は、無形固定資産が減価償却等により110百万円減少した一方、有形固定資産が設備投資等により1,114百万円、投資その他の資産が333百万円、それぞれ増加したことにより、1,337百万円増加し16,624百万円となりました。これらにより資産合計は、1,886百万円増加し54,843百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、買掛金が377百万円増加した一方、未払法人税等が225百万円、未払費用が208百万円、それぞれ減少したことなどにより、337百万円減少し15,907百万円となりました。

固定負債は、209百万円増加し2,741百万円となりました。これらにより負債合計は、127百万円減少し18,649百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が1,889百万円増加したことなどにより、2,013百万円増加し36,194百万円となり、自己資本比率は65.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ266百万円増加し13,942百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,604百万円、減価償却費1,024百万円及び仕入債務の増加額386百万円等の資金の増加、売上債権の増加額236百万円及び法人税等の支払額1,346百万円等の資金の減少により、2,952百万円の収入（前年同四半期は2,846百万円の収入）となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,689百万円、無形固定資産の取得による支出213百万円等の資金の減少等により、2,071百万円の支出（前年同四半期は1,244百万円の支出）となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額472百万円、リース債務返済による支出125百万円の資金の減少により、598百万円の支出（前年同四半期は18百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益の数値を修正しております。この修正に伴う各セグメントの業績予想は次のとおりであります。

トランコムグループの連結業績予想

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	対前期増減額	対前期増減率
売上高	151,111	162,600	11,488	7.6
営業利益	6,733	7,700	966	14.4
経常利益	6,651	7,610	958	14.4
親会社株主に帰属する当期純利益	4,328	5,000	671	15.5

セグメントごとの業績予想

(単位：百万円)

		2019年3月期	2020年3月期	対前期増減額	対前期増減率
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	51,118	54,000	2,881	5.6
	営業利益	3,033	3,500	466	15.4
物流情報サービス 事業	売上高	83,750	92,600	8,849	10.6
	営業利益	3,312	3,500	187	5.7
インダストリアル サポート事業	売上高	7,687	7,600	△87	△1.1
	営業利益	141	330	188	133.1
その他	売上高	9,906	9,900	△6	△0.1
	営業利益	388	430	41	10.7

(注) 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,675	13,942
受取手形及び売掛金	23,275	23,503
商品	19	14
仕掛品	1	1
貯蔵品	23	23
前払費用	565	645
その他	108	87
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	37,669	38,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,867	8,014
減価償却累計額	△4,446	△4,574
建物及び構築物 (純額)	3,420	3,440
機械装置及び運搬具	5,227	5,833
減価償却累計額	△3,973	△4,187
機械装置及び運搬具 (純額)	1,254	1,646
土地	2,701	2,991
リース資産	2,284	2,334
減価償却累計額	△1,371	△1,460
リース資産 (純額)	912	874
建設仮勘定	232	434
その他	1,147	1,477
減価償却累計額	△731	△812
その他 (純額)	416	665
有形固定資産合計	8,937	10,052
無形固定資産		
のれん	367	332
ソフトウェア	1,348	1,329
ソフトウェア仮勘定	251	239
顧客関連資産	457	413
その他	165	164
無形固定資産合計	2,590	2,479
投資その他の資産		
投資有価証券	1,632	1,847
繰延税金資産	654	602
差入保証金	1,332	1,443
その他	162	222
貸倒引当金	△21	△22
投資その他の資産合計	3,759	4,092
固定資産合計	15,287	16,624
資産合計	52,957	54,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,893	11,270
リース債務	246	288
未払金	407	289
未払費用	1,582	1,373
未払法人税等	1,390	1,164
未払消費税等	588	486
賞与引当金	598	650
役員賞与引当金	—	18
その他	537	363
流動負債合計	16,245	15,907
固定負債		
リース債務	1,002	1,109
繰延税金負債	114	103
再評価に係る繰延税金負債	11	11
株式給付引当金	209	232
役員株式給付引当金	200	225
退職給付に係る負債	100	101
資産除去債務	526	564
その他	366	393
固定負債合計	2,531	2,741
負債合計	18,776	18,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,652	1,655
利益剰余金	32,251	34,141
自己株式	△961	△960
株主資本合計	34,022	35,916
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113	249
土地再評価差額金	26	26
為替換算調整勘定	△169	△219
退職給付に係る調整累計額	△1	△7
その他の包括利益累計額合計	△30	48
新株予約権	104	104
非支配株主持分	84	124
純資産合計	34,180	36,194
負債純資産合計	52,957	54,843

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	73,345	80,217
売上原価	69,092	75,213
売上総利益	4,252	5,003
販売費及び一般管理費	1,269	1,331
営業利益	2,983	3,672
営業外収益		
受取利息及び配当金	11	13
持分法による投資利益	7	18
為替差益	16	—
その他	31	19
営業外収益合計	66	50
営業外費用		
支払利息	52	47
固定資産除却損	18	12
その他	0	33
営業外費用合計	71	93
経常利益	2,978	3,630
特別損失		
支払補償費	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	2,978	3,604
法人税、住民税及び事業税	1,001	1,217
法人税等調整額	△59	△12
法人税等合計	941	1,204
四半期純利益	2,036	2,399
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,001	2,362
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	135
為替換算調整勘定	△85	△49
退職給付に係る調整額	△3	△5
その他の包括利益合計	△50	80
四半期包括利益	1,986	2,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,950	2,441
非支配株主に係る四半期包括利益	35	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,978	3,604
減価償却費	833	1,024
のれん償却額	29	24
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	37	51
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	18
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	18	27
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	16	25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	△7
受取利息及び受取配当金	△11	△13
持分法による投資損益 (△は益)	△7	△18
支払利息	52	47
固定資産除却損	18	12
支払補償費	—	25
売上債権の増減額 (△は増加)	663	△236
仕入債務の増減額 (△は減少)	△679	386
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39	△101
その他	△113	△514
小計	3,770	4,357
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△52	△47
支払補償費の支払額	—	△24
法人税等の支払額	△882	△1,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,846	2,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△524	△1,689
有形固定資産の売却による収入	5	3
無形固定資産の取得による支出	△180	△213
投資有価証券の取得による支出	△500	△0
その他	△43	△172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,244	△2,071
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5	—
自己株式の取得による支出	△0	—
自己株式の処分による収入	515	—
配当金の支払額	△410	△472
リース債務の返済による支出	△117	△125
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	△598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,557	266
現金及び現金同等物の期首残高	10,258	13,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,815	13,942

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,892	40,461	3,740	69,094	4,250	73,345	—	73,345
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	31	26	59	530	590	△590	—
計	24,893	40,493	3,767	69,154	4,781	73,935	△590	73,345
セグメント利益 又は損失(△)	1,334	1,530	△3	2,861	179	3,040	△57	2,983

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、のれんの償却額△29百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	26,989	45,353	3,726	76,068	4,148	80,217	—	80,217
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	32	8	41	710	751	△751	—
計	26,989	45,385	3,735	76,109	4,859	80,968	△751	80,217
セグメント利益	1,673	1,606	178	3,459	262	3,721	△48	3,672

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。
2. セグメント利益の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去△14百万円、のれんの償却額△24百万円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△10百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。